

SHIROYAMA

ニューイヤー コンサート 2019

城山プレジールオーケストラと 華麗なるオペラの世界

2019
1/6

17:30～受付・カクテルタイム
18:00～コンサート 19:00～ディナー
エメラルド<4階> ※全席指定席となります。
※未就学児の入場はお断りさせていただきます。
お一人様 ¥22,000 (料理・飲物・税・サービス料込)
<料理> 洋食フルコース <ドレスコード> カジュアルフォーマル

SHIROYAMA HOTEL kagoshima オリジナル編成の「城山プレジールオーケストラ」と華麗なるオペラで2019年の幕開けを彩ります。現在、各地で活躍している鹿児島出身の音楽家たちによる演奏と、ホテル総料理長の丹精込めたフルコースディナーのシンフォニーを心ゆくまでご堪能ください。



- ・ワルツ「美しく青きドナウ」(作曲/シュトラウス2世)
- ・「春の声」(作曲/シュトラウス2世)
- ・「椿姫」より「乾杯の歌」(作曲/ヴェルディ) 他 (予定)



イメージ
季節の食材にこだわり、五感で味わう
新春の一品を演出いたします。



総料理長
徳重 慎一郎



イメージ

お支払い方法 及び
発券・発送のご案内

・料金はご予約後、2週間以内に銀行振込または来館にてご入金ください。
・ご入金確認後、予約時にいただいたご住所へ順次、発送いたします。
・発券、発送に掛かる費用は弊社で負担いたします。銀行振込手数料につきましてはお客様負担となります。

銀行支店名 / 鹿児島銀行 天文館支店
口座番号 / 普通預金 489869
口座名 / 城山観光株式会社

※やむを得ぬ事情により曲目・出演者等を変更又は中止する場合がありますので、ご了承ください。

<協力> (株) SPプランニング

SHIROYAMA HOTEL
kagoshima

SHIROYAMA HOTEL kagoshima (城山ホテル鹿児島)

☎ 890-8586 鹿児島市新照院町 41-1

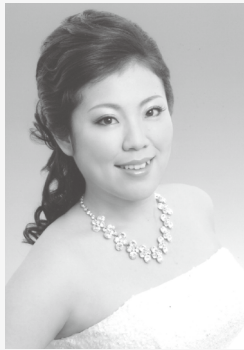
公式HP / www.shiroyama-g.co.jp



お問い合わせ・ご予約は [予約デスク] 9:00～20:00

099 (224) 2221





隈元 奈津希 *Soprano*

鹿児島県立松陽高等学校音楽科11期生卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。大学在学中に、同声会新人賞を受賞。卒業後、同声会新人演奏会に出演。第61回滝廉太郎記念全国高等学校声楽コンクール第3位。前記の活動により、2009年2月鹿児島県教育委員会いきいき教育活動賞受賞。2015年10月イタリアへ渡り、翌年Nova Symphonia Patavina オーケストラとドリーブ作曲の歌劇「ラクメ」の楽曲で共演。2018年霧島国際音楽祭にてアンドレア・ロスト氏の声楽マスタークラス受講。現在、鹿児島を拠点に演奏活動に励む。これまでに声楽を齊藤玲子、日比啓子、秦貴美子の各氏に師事。

ヴォーカルアンサンブルグループ「エスペラン THE トゥーマ」会員。
鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録演奏家。



竹下 裕美 *Soprano*

鹿児島県立松陽高等学校音楽科8期生卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科並びに、同大学院修士課程オペラ科修了。修了時に武藤舞奨学金を授与。

2012年度明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生及び、2016年度文化庁新進芸術家海外研修生としてウィーン国立音楽大学オペラ科で研鑽を積む。

藝大オペラ定期「イル・カンピエッロ」ルシェータ役でデビュー。その他「Cosi fan tutte」フィオルディリージ役や「La clemenza di Tito」ヴィッテリア役等、数々のオペラやオラトリオ、第九のソリストを務める。

2015年3月シェーンブルン宮殿歌劇場にて「ジャンニ・スキッキ」ネッラ役として、また2016年1月エストニアのパスル劇場のニューイヤーオペラコンサートにゲスト出演。2018年「スサノオと美琴」にてソリスト出演。新国立劇場デビューを果たした。

第58回瀧廉太郎記念日本高等学校声楽コンクール第1位。第61回全日本学生音楽コンクール(学生・一般の部)東京大会第2位。第48回日伊声楽コンクール入選。第4回コープ国際音楽コンクール特別賞受賞。第1回Ljuba Welitsch 国際声楽コンクールファイナリスト。

これまでに声楽を齊藤玲子、三林輝夫、朝倉蒼生、佐藤ひさら、Josef Loibl、Rebecca Blankenship、リート&オラトリオをWalter Mooreの各氏に師事。藤原歌劇団正団員。日本オペラ振興会会員。(株)ピュアハーツ所属アーティスト。



平田 由希 *Soprano*

鹿児島出身、ソプラノ歌手。

3歳よりピアノを習いはじめ、5歳より7年間、ヤマハジュニア専門コースにてピアノ演奏やソルフェージュ、即興演奏、作曲などを学ぶ。鹿児島県立鶴丸高等学校卒業。大分県立芸術文化短期大学音楽科(声楽専攻)卒業。同短期大学音楽専攻科修了。卒業演奏会、修了演奏会出演。大学代表として東京文化会館にて第74回読売新人演奏会出演。二期会オペラ研修所50期予科、本科、マスタークラス修了。

第28回、38回霧島国際音楽祭マスタークラス修了。

音楽の祭典ラ・フォル・ジュルネ・ジャポニアコンサート、オペラシティランチタイムコンサート、日伊交歓ニューイヤー・ゴールデン・ガラコンサートなど様々なコンサートに出演。2013年には日本フィルハーモニー管弦楽団と共演、日本の歌やクラシカルクロスオーバーなどを演奏し好評を博す。オペラでは『こうもり』ロザリンド役、『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役、『メリー・ウィドウ』ヴァランシエンス役、『電話』ルーシー役、『ミスター・シンデレラ』マミ役、『友人フリッツ』ベッペ役、『魔笛』侍女1役に出演。

声楽を、大島(片野坂)栄子、アンドレア・ロスト、アンナ・トモワ=シントウ、パオロ・コーニ、吉川健一、西澤明、久保扶佐子の各氏に師事。

2010年より二期会プロデュース、ソプラノ歌手4名によるヴォーカル・ユニット“クリスターレ☆”メンバーとしてクラシックの枠を超えた新しい活動も展開し、天使のヒーリングボイスを持つ新星ソプラノとして注目されている。財団法人地域創造の共催による、学校や幼稚園などへのアウトリーチコンサートや、二期会・オペラ制作委員会主催カルチャーセンターでの講師、その他歌唱指導などでも活動する他、クルーズ内でのコンサートや、ピアレストランやサロンでのイベント演奏、企画・演奏ともに多方面にわたり活躍している。

第53、54、55回南日本音楽コンクール優秀賞。

第40回イタリア声楽コンクール入選。

第31回飯塚新人音楽コンクール入選。

第16回シュガーホール新人演奏会入選。

第30回ソレイユ音楽コンクール入選。

2016年、第41回鹿児島市春の新人賞受賞。6月に受賞記念リサイタルを開催。

現在、東京二期会会員。鹿児島オペラ協会会員。みやまコンセル協力演奏家。(公財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。



小城 龍生 *Tenor*

霧島市隼人町出身。県立加治木高等学校卒業。国立音楽大学卒業。声楽を池端ミチ子、野中匡雄、菅野宏昭、バリデヴェントゥーリの各氏に演奏法をラファエッラヴィニエッリ、レオーネマジェーラの各氏に師事。

2000年より2008年までイタリアのポーロニャに留学。ベルカント唱法の著名な教師であるバリデヴェントゥーリの元で研鑽を積む。

2004年にヴェルチェッリ市でラポエームのロドルフォ役でデビューし、その後トリノ市を中心に北イタリアの各地で、椿姫、トスカ、蝶々夫人今まで歌った主な役はラポエームのロドルフォ役、カルメンのドンホセ役や愛の妙薬のネモリーノ役、トスカのカヴァラドッシ役、マノンの

デグリュエ役魔笛のタミーノ役などである。宗教曲ソリストとしてはモーツァルトの戴冠ミサ、ベートーベンの第九、シューベルトのト長調ミサなどを歌った。

ロレンツォペロージ国際声楽コンクール入賞、東京オペラプロデュースメンバー、第56期二期会オペラ研修マスタークラス修了。



大山 大輔 *Bassitone*

鹿児島県出身。東京藝術大学首席卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。

兵庫芸文センター《メリー・ウィドウ》にて鮮烈なデビューを飾って以降、多くのオペラで活躍している。特に「井上道義×野田秀樹」による《フィガロの結婚》フィガロや、宮川彬良作曲 歌劇《ブラック・ジャック》タイトルロール、異彩を放つシアターピース、バーンスタイン《ミサ》でのセレブラント等、独自性の強い作品での主役として圧倒的な存在感を示している。

また宗教曲や、古楽の分野においても数多くのコンサートソリストを務める他、役者として演劇作品への出演も多く、劇団四季ミュージカル《オペラ座の怪人》ではファントムとして客演するなどジャンルを越えて活躍しており、その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC・ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。

日本声楽アカデミー会員。東京メトロポリタンオペラ財団理事。アチーブメントプロデュース所属アーティスト。洗足学園音楽大学講師。昭和音楽大学講師。



山崎 勇太 *Conductor*

鹿児島県出身。神村学園高等部音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。鹿児島県高校生音楽コンクール金管楽器部門第1位、鹿児島県代表として全九州高校生音楽コンクールに出場。第10回大阪国際音楽コンクール SectionII(室内楽部門)にて金管5重奏で参加し、第3位受賞。同年12月に行われた東京芸術大学室内楽試験にて合格し、第33回芸大室内楽定期に金管5重奏で出演。第60回南日本音楽コンクールにて入選。

フランストゥール国際サクソルン・ユーフォニアム・チューバ・コンクール2015Prestige部門セミアリナリスト。バイエルン放送交響楽団チューバ奏者 Stefan Tischler 氏、ニューヨーク・フィルハーモニック トロンボーン奏者 Joseph Alessi 氏(オーケストラスタディ)のマスタークラスを受講。ベルサイユ音楽院 David Zambon 氏のレッスンを受講。

これまでにチューバを稲川栄一、久木田絵理子、佐藤和彦、室内楽を守山光三、秋山鴻市の各氏に師事。また後進の指導にも力を入れており、各地で開催される講習会講師、並びにコンクール審査員なども務める。編曲活動も行っており、自身の組む金管5重奏や金管アンサンブルなどの編成の為に多数アレンジ。荒川吹奏楽団指揮者、チャオズワインドアンサンブル指揮者、桐朋学園大学音楽学部嘱託演奏員、みやまコンセル協力演奏家。